

令和4年度事業報告

I 重点事業

1 県民に対する普及啓発

(1) 「臓器移植フォーラム 2022in上越」開催

10月の「臓器移植普及推進月間」に合わせて、多くの人から移植医療についての理解を深めてもらい、移植医療の推進が図られることを目的として次のとおり開催した。

○開催日 令和4年10月2日（日）

○参加人数 約100名

○共 催 新潟県腎臓病患者友の会、新潟県

○場 所 直江津ショッピングセンター エルマール

○概 要・FMラジオ番組公開録音※10月に5回シリーズにて放送

ヤン&アッキーの「ど~なの？臓器移植シーズン R4」

齊藤ジョニー ミニライブ

(2) 「命 Relay for you」学習会講師派遣事業

学生に命の大切さや臓器移植医療の現状をわかりやすく理解してもらうため、県内の大学、専門学校の学習会に臓器移植コーディネーターを派遣した。

派遣実施：3校 受講者数：204人

(3) 普及啓発資材の配布

新潟県腎臓病患者友の会及び新潟県ライオンズ・アイバンク協議会、市町村等と協力し、リーフレット等の配布を行った。

	臓器提供意思表示 リーフレット	財団パンフレット (献眼登録申込書)	ポスター
臓器移植普及推進月間	10,073	7,173	716
健康まつり	174	74	0
成人式	5,422	0	0
ライオンズクラブ	0	900	0
合計	15,669	8,147	716

2 医療機関に対する普及啓発

新潟県院内コーディネーター研修会

臓器提供者の意思が迅速に臓器移植コーディネーターに伝達されるよう、知事が委嘱した院内コーディネーターに対し、研修を行った。

今年度は、臓器移植に関する「新潟大学・聖マリアンナ医科大学合同Webセミナー」を活用することとし、院内コーディネーターに参加を案内した。（8名参加）

II その他の事業

1 臓器移植コーディネーターの設置

適正かつ円滑に臓器移植を実施し、移植医療を推進するため、臓器移植コーディネーターを設置し、院内コーディネーターと連携して普及啓発活動を行った。

2 角膜提供希望者の募集及び登録情報の管理

- (1) 眼球提供希望者登録用のパンフレットの配布等を行い、県民に趣旨の周知を図りつつ、眼球提供希望者の募集を行った。

○献眼登録申込書(財団パンフレット)配布 8,147部 (再掲)

- (2) 眼球提供希望者を登録台帳に登録し、個人情報に留意のうえ適正に管理した。

○令和4年度 献眼登録者 108名

- (3) 角膜移植希望者の把握、角膜移植待機者名簿への登録、レシピエントの選択及び角膜強膜移植の実施を新潟大学医歯学総合病院に依頼して行った。

○角膜移植待機者 31名

○令和4年度 使用角膜数 22個

○令和4年度 使用強膜数 46個

3 腎臓病患者相談補助事業

新潟県腎臓病患者友の会が行う腎臓移植推進事業へ補助金を交付した。

○補助実績 100,000円

4 移植にかかる各種の助成事業

- (1) 組織適合性検査料助成金

移植希望者検査費(HLA検査)の病院負担分に対し助成金を交付した。

○助成実績 1人当たり 6,600円×15人

- (2) 臓器摘出協力医療機関助成金

臓器を摘出する手術のために手術室等を提供した県内の医療機関に対し助成した。

○助成実績 1病院当たり 10,000円×1病院

5 賛助会員の募集及び寄付の依頼

- (1) 賛助会員の募集及び寄付の依頼

移植に関する知識の普及啓発活動に対する賛同者を増やすとともに活動の原資とするため、賛助会員の募集及び寄付の依頼を行った。

○概要 依頼文書(趣意書)及び財団だよりの発送(令和4年12月)や、企業訪問により依頼を行った。

	令和4年度(実績)	令和3年度(実績)
賛助会費	2,057,000円	2,486,610円
寄付金	879,490円	600,122円

※下記(2)の金額を含む

- (2) 寄付型自動販売機の設置

移植に関する普及啓発活動の原資とするため、賛助会員の団体、病院等にチラシを配布し、寄付型自動販売機を設置

- 概要 自動販売機業者から設置企業・団体様へ支払われる販売手数料から、一本あたり定額をご寄付いただく、寄付型自動販売機の設置
- 設置状況 平成29年 9月 新潟市歯科医師会
平成29年10月 あがの市民病院
平成29年11月 大森内科医院
平成30年 1月 源川医科器械(株)
平成30年 3月 アルファスグループ
令和4年 6月 アルファスグループ
- 寄付金額 32,153円